

みやまの夜空を照らす大輪の花



7月20日、筑後広域公園近くの矢部川河川敷で第46回みやま納涼花火大会が開催されました。3年ぶりの開催となる今回は、新型コロナウイルスの影響により大幅に規模を縮小し、15分間で約1000発の花火が打ち上げられました。打ち上げられた色とりどりの花火に、観客からは「すごい!」「綺麗だな」と歓声が上がりました。

迫力ある山車が堂々と練り歩く



7月16日、高田町江浦町地区で3年ぶりとなる江浦町祇園祭が開催されました。この祭りは、五穀豊穡、悪疫退散を祈願し行われます。大蛇や踊り手を乗せた4つの山車(二ノ丸・吉原組、新町組、古町組、田中組のおどり山車)が太鼓や鉦を鳴り響かせて地区を練り歩き、子どもの無病息災を願う「かませ」も見られました。大蛇山の勇壮な姿に、訪れた多くの人たちから歓声があがり、地区内は熱気に包まれました。

自転車の安全利用を呼びかけました



7月13日、瀬高中学校で自転車の安全利用啓発キャンペーンが行われました。柳川警察署や市交通安全協会、地域ボランティアの皆さんが、下校する自転車利用の生徒に反射材を兼ねたキーホルダーや自転車安全利用テキストを配り、自転車の安全利用を呼びかけました。

60歳のその先へ



7月12日、三潯高等学校3年生の竹下^{しんご}さんが(瀬高中出身)が市役所を訪れ、令和4年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会出場を報告しました。竹下さんは「今大会で60歳以上を投げて良い成績を残し、やり投げの国体選手に選ばれたいです」と意気込みを語りました。

市にデジタル専門人材が派遣



6月30日、富士通Japan株式会社との地域活性化起業人派遣に関する協定締結式が行われました。同社の西山直輝さん(中央)が令和6年6月30日まで、本市のデジタル化推進のために派遣されます。西山さんは「デジタル化推進に全力で取り組みたいです」とあいさつしました。

MIYAMAXで役立ててほしい



6月28日、柳川ロータリークラブよりデジタルサイネージが寄贈されました。デジタルサイネージは10月に開館予定の総合市民センター(MIYAMAX)に設置され、来館者へのお知らせや、案内表示などに活用されます。

福岡県代表としてかるたの全国大会へ



7月15日、輝翔館中等教育学校1年生の天野瑤子さん(瀬高町)が、小倉百人一首競技かるた全国中学生選手権大会出場を報告しました。大会は8月6日、7日に行われます。団体戦と個人戦に出場する天野さんは「先輩たちに負けないように練習して、優勝したいです」と抱負を述べました。

世界の恒久平和への誓いを新たに



6月30日、まいピア高田でみやま市戦没者追悼式が開催されました。遺族の代表者や関係者など約60人が参列し、戦争で亡くなられた1610柱の御霊に黙とうを捧げました。松嶋市長は「恒久平和の実現に向け、より一層の努力を重ねてまいります」と式辞を述べました。

水泳で九州大会に出場



6月23日、浅山賢一さんと浅山淳子さんが、九州障がい者水泳選手権大会の出場を報告しました。賢一さんは25歳背泳ぎと50歳平泳ぎ、淳子さんは25、50歳背泳ぎに出場。賢一さんは「練習を重ねて、自己記録を更新したいです」と話しました。

B&Gプールの工事費を助成



6月28日、高田B&G海洋センタープールのリニューアルにかかる工事費の一部をB&G財団より助成いただく、修繕助成決定書の授与式が行われました。B&G財団の古山透常務理事は「地域づくり・人づくりのために活用してほしいです」とあいさつしました。